

1. 保守点検

■ 油 圧

- 油圧ユニットの油量(レベル計で確認)。
- 油圧ユニットの油の劣化状態(油の変色など)。
- 配管、シリンダー、ユニットに油漏れはないか。
- 前進・後退(ソレノイド)、および圧カスイッチの動作。
- 油圧ポンプモーターからの異音はないか。
- シリンダーは正常に前進・後退するか。

■ 駆 動 部

- 開板モーターに、発熱・異音はないか。
- 開板機の押しバネに、ゆるみはないか。
- 開板機のコロ・ピンの動作、および磨耗状態。
- ローラーチェーンに、摩耗・たるみはないか。
- 各チェーンホイールに、摩耗はないか。
- 駆動側・従動側の複合軸の動作。
- テンションバネの張り、スイッチの動作。
- 開板ルール、ローラーチェーン、ベアリングなどの注油の状態。
- 移動板(ラム)のコロ、角メタルの磨耗(リン青銅板部分など)、注油の状態。

■ 制 御 盤

- ブレーカー・マグネットスイッチ・リレー・タイマーなどの動作。
- リレー、タイマーなどの取付状態。
- 表示灯のランプ切れ、取付状態。
- 各手動スイッチ、近接スイッチなどの動作(自動・手動の両方で確認)。

■ スラリーポンプ

- 配管、フランジ部に、漏れ・ゆるみ・砂などの詰まりはないか。
- 軸受部温度(軸受付近ケーシング温度)。
- 異音・異常振動はないか。
- 軸封部(グランドパッキン部)の泥漏れはないか。
- 軸封水の点検(圧力、水量の調整)。

■ ろ 板

- コロ・ピン・スリップメタルに、摩耗はないか。
- 水切り部の破損及び詰まりはないか。
- ろ板の反り、腕の曲がりはないか。
- 水切りネットの目、ろ液検出パイプに詰まりはないか。
- ろ布吊りバネの引っ張り状態。
- クサリに、切れ、変形、ボルトの外れはないか。
- フランジに、ボルト緩み・穴の塞がり・変形はないか。

■ ろ 布

- ろ布止め紐・Oリングは外れていないか。
- ケーキのはく離はできているか。
- ろ布の目詰まり状態。
- シールゴムが当たる部分に付着物はないか。
- 重り棒は装着されているか。
- 破れ・穴開きなどの破損はないか。

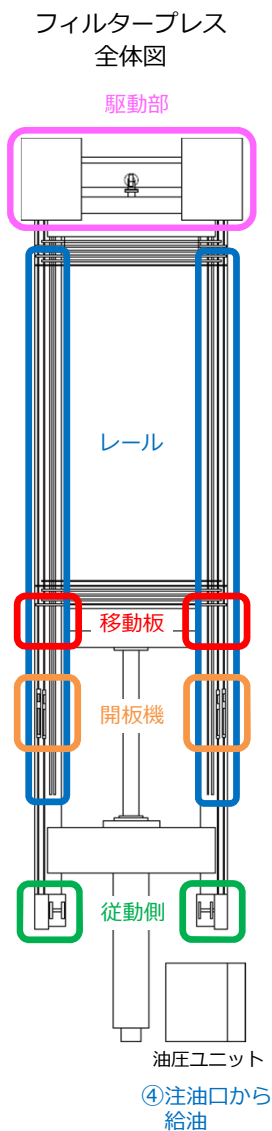
■ ろ 枠

- コロ・ピン・スリップメタルに、摩耗はないか。
- ろ枠の形状は変形していないか。
- シムの摩耗・欠損はないか。
- クサリに、切れ、変形、ボルトの外れはないか。

■ シールゴム

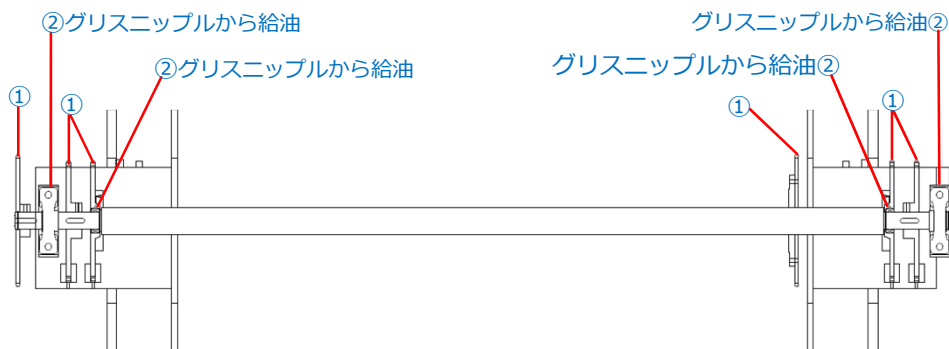
- キズ・切れ目・変形はないか。
- ろ枠に正しく取り付けられているか。
- ろ布が当たる部分に付着物はないか。

2. 給油

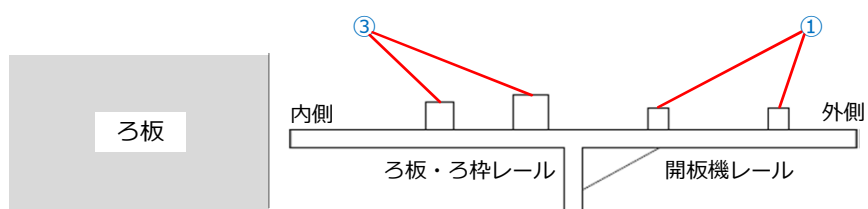


駆動側

(ベアリングユニット、チェーン、チェーンホイール)

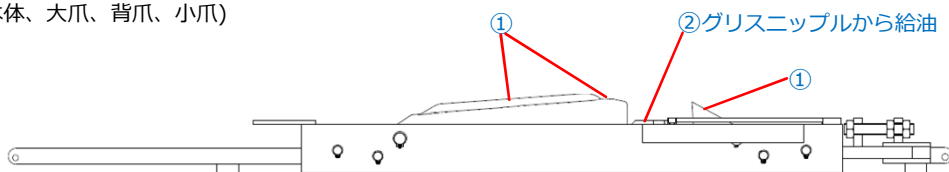


レール ※レールの位置・本数は機種により異なる場合があります。



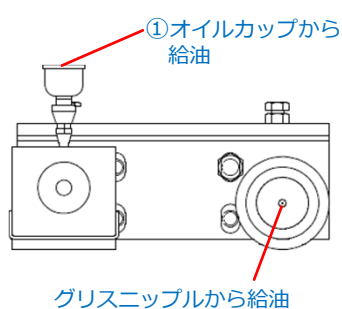
開板機

(本体、大爪、背爪、小爪)



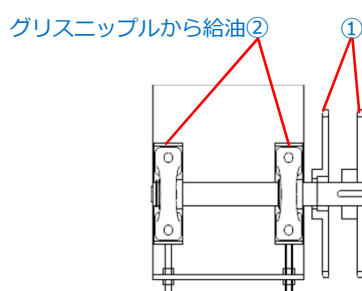
移動板

(角メタル、コロ)



従動側

(ベアリングユニット、チェーン、チェーンホイール)



各部の形状は仕様により異なる場合があります。ご了承ください。

No.	油の種類	給油時期の目安	給油の量	給油の場所
①	ギヤ油 68番 または 100番	1週間に1回		チェーン、チェーンホイール、移動板角メタル
②	リチウムグリス (日鉱日石 エピノックグリス AP-No.2)	1週間に1回	3g 開板機は1g	ベアリングユニット、移動板コロ、開板機
③	ウレアグリス (日鉱日石 パイロノックグリス No.2)	1週間に1回	表面に薄く	レール
④	作動油 32番	3ヶ月に1回	オイルゲージの 定量ラインまで	給油ユニット